

Yamaguchi
はぎ あぶ
萩・阿武

次の一步がきっと見つかる

暮らしづくり 暮る旅

旅行
期間

2024

2.10 土

▶ 2.12 月・休

参加者10名募集

Abu



竹細工と手仕事で地域の文化を発信。
デザイナー夫婦のご縁がめぐる暮らし



Hagi

地域をまるごと食べられる村に。
料理で価値を創造するシェフのライフワーク



Hagi

200年続く佐々並豆腐を受け継ぎ、
次世代に伝える老舗旅館のおかみさん



Abu

漁師めし食堂を営む彼女がつくった、鳴き砂
の浜に建つ家族の居場所とゲストハウス



Hagi

「萩で暮らすなら、萩の人が行きたくなる飲食店にしよう」と、少しずつ形に

2泊6食付きツアー料金

6,000円/人 (税込)

山口県 萩・阿武ってどんなまち？

海・山・川の豊かな自然と、歴史を紡ぐ美しい風景や
あたたかい人々に恵まれ、本質的なものに惹かれて
2つのまちで暮らす人が増えています。その暮らしには、
共感やヒントがたくさん。実際に会って、次の一步を
見つける旅に出かけましょう！

※集合場所までの交通費は自己負担となります
が、『YYターン！支援交通費補助金 / 居住地域
別に往復交通費の一部を補助（福岡県居住者
は高速道路利用料金も対象）』が申請できます！
（1年度につき1人1回限り、要件あり）

Hagi・Abu
Yamaguchi



事業主体

萩・阿武定住自立圏交流・移住・定住促進協議会（萩市・阿武町）

旅行企画・実施

はぎまえトリップ698（山口県萩市福井下3944-1）

山口県知事登録旅行業第地域-135号・（一社）全国旅行業協会正会員
＜募集型企画旅行実施可能区域＞萩市・阿武町・山口市・長門市・美祿市・益田市・津和野町

お
申
し
込
み



1月12日（金）
【申込締切】

次の一歩がきっと見つかる

暮らしづくり 暮る旅 めぐる方

参加者10名募集

ツアー料金

申込はこちら

【申込締切】1/12(金)

旅行
期間

2024 2.10±

2.12月・休

2泊6食付き
6,000円/人 (税込)

※当日受付時に現金にてお支払いください。



1日目

萩の「今」にふれる

13:30 「萩・明倫学舎」に集合



添乗員 宮崎さん

14:00 伝建地区・浜崎を散策



菊ヶ浜を出発



はぎビズ



和菓子屋さん



ポートサンスタンド

元船具店「むらやカフェ」で休憩



店主 宮田さん

16:15 「萩ゲストハウスruco」へチェックイン



生活と旅に寄り添い、
まちの循環を生む場
所。萩のエッセンスが
詰まった空間もすてき

18:00 「yamamichi食堂」で交流会



店主 平山さん

21:00 萩のまちを散歩しながら宿泊先へ

2日目

山あいの地区と阿武町へ

8:00 「yuQuri」のパンを使った朝食

9:30 佐々並地区で交流・豆腐作り体験



交流促進施設「みなくる」



ささづ応援隊のみなさん



豆腐料理「はやし屋」



おかみ 林さん

13:45 「ABUキャンプフィールド」見学



矢田 マネージャー

「道の駅阿武町」で買物・温泉タイム



「SUNbashi CAFÉ」で
萩阿武食材のスペシャルディナー



「彦又十郎」岡本シェフ

20:45 二手に別れて各宿泊先へ



オーナー
田口さん



KIYO BEACH HOUSE



漁家民宿 浜の小屋

3日目

なりわいと地元の味を知る

8:00 漁家民宿「浜の小屋」に集合

8:15 定置網漁の水揚げ見学



漁師で知られる惣郷
(そうごう)。海とともにあ
るなりわいを肌で感じる
ことができる



おかみ 茂利さん

10:30 「暮らしの荒物屋めぐる」で竹細工体験



店主 中村さん&
「阿古友の会」能野さん・里川さん

12:30 萩のソウルフード「どんどん」でランチ



13:30 「はぎボルト-暮らしの案内所-」で
旅の振り返り



萩市 鉏師さん・蛭子さん

15:00 ツアー終了

※スーパーはぎ号:萩・明倫センター15:47

ツアー詳細

【集合場所】萩・明倫学舎本館1F
観光インフォメーションセンター

【宿泊】1日目:萩ゲストハウス ruco
2日目:漁家民宿 浜の小屋
ゲストハウス KIYO BEACH HOUSE

【食事】1日目:夕食
2日目:朝・昼・夕食
3日目:朝・昼食

【利用バス/タクシー会社】新日本観光交通(株)
【募集定員】10名程度

【最少催行人数】6名

【応募条件】山口県外に在住の方

【添乗員】同行

【応募締切】1月12日(金)

※ご応募多数の場合、エントリー時の記入内容から
選考いたします

【申し込み方法】

お申し込みフォーム ※上記QRコードあり

<https://forms.gle/9TV5eJkybPEXeyWn7>

お電話:090-4613-9018(はぎまへ698トリップ・宮崎)

【注意事項】

●当ツアーは、萩市・阿武町内のみを取り扱ったツアーです。居住地から当ツアーの発着地点(萩・明倫学舎)までの交通手段につきましては、ご参加者自身でご手配いただきますようお願いいたします。

●ツアー終了後にアンケートを実施しますので、ご回答をお願いします。集計したアンケートの情報につきましては、今後のツアーにおける満足度向上に活用させていただきます。

●食物アレルギーなどのご事情には、基本的な行程の中でできるだけ対応を検討しますが、食材や環境により限りがありますのでご了承ください。また、事前に詳細確認のご連絡をさせていただきますので、ご対応をお願いします。

●37.5度以上の発熱や体調不良の場合、ツアーのご参加をお控えいただくことがあります。

●天候や感染症などにより、ツアー内容を変更、または中止する場合があります。

旅行条件書(要約)

※お申し込みの際には必ず旅行条件書(全文)をお受け取りいただき、事前に内容をご確認ください。

●募集型企画旅行契約 / この旅行ははぎまへ698トリップ(山口県萩市福井下3944-1 山口県知事登録旅行業第地135 号。以下「はぎまへ」という。)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様ははぎまへと募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」という)を締結することになります。また、旅行条件書は、下記によるほか、別途お渡しする旅行条件書(全文)、出発前にお渡しする最終日程表と称する確定書面及びはぎまへ旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。●旅行のお申し込み及び契約成立時期 / (1)お申し込み(旅行契約)をしようとするお客様は、電話あるいは、はぎまへが準備した予約専用ページにおいて、はぎまへが定める方法により予約の申し込みをするものとし、その際の申込金は不要です。(2)旅行契約は、はぎまへが契約の締結を承諾したときに成立するものとします。●旅行代金に含まれるもの / 旅行日程に明示した運送機関の運賃・料金、体験代、入場料及び消費税等諸税。これらの費用は、お客様の都合により一部利用されなくとも原則として払い戻しいたしません(コースに含まれない交通費等の諸費用及び個人的費用は含みません)。●特別補償 / はぎまへは、はぎまへ又ははぎまへが手配を代行させた者の故意又は過失の有無にかかわらず、募集型企画旅行約款別紙特別補償規程に基づき、お客様が募集型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故により、その身体、生命又は手荷物上に被った一定の損害について、以下の金額の範囲において、補償金又は見舞金を支払います。●死亡補償金:1,500万円・入院見舞金:2~20万円・通院見舞金:1~5万円・携行品損害補償金:お客様1名につき~15万円(但し、補償対象品1個あたり10万円を限度とします)。●個人情報の取扱について / はぎまへ及び販売店、旅行参加後のご意見や感想の提供のお願い③アンケートの個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申し込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のために手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。その他、はぎまへ及び販売店では①はぎまへ及びはぎまへと提携する企業の商品やサービス、キャンペーンのご案内②旅行参加後のご意見や感想の提供のお願い③アンケートの個人情報④統計資料の作成にお客様の個人情報を利用させていただくことがあります。●旅行条件・旅行代金の基準 / この旅行条件は2023年12月1日を基準としています。旅行代金は2023年12月1日現在の有効な運賃・規則を基準として算出しています。はぎまへは、いかなる場合も旅行の再実施はいたしません。●取消料 / 旅行契約成立後、お客様のご都合で契約を解除される場合は以下の金額を取消料として申し受けます。旅行開始日前日から起算して7日~2日前:旅行代金の30%・旅行開始日の前日:旅行代金の40%・旅行開始日当日:旅行代金の50%・旅行開始後または無連絡不参加:旅行代金の100%

はぎまへ698トリップ(担当:宮崎(ミヤザキ))

〒758-0212 山口県萩市福井下3944-1

TEL: 090-4613-9018 / MAIL: hagimae698@gmail.com

HP: <https://hagi-tourism.com/>

受付時間: 平日10:00~17:00(土・日曜、祝日は休み)

萩・阿武定住自立圏交流・移住・定住促進協議会

(事務局:萩市おいでませ、豊かな暮らし応援課)

TEL: 0838-25-3360 / MAIL: teijyu@city.hagi.lg.jp

お問い合わせ

2/10 sat. [萩の暮らしを体感]

体験

古きを活かし、新しきを受け容れる。新旧が交わり暮らしを紡ぐ、浜崎を散策



江戸期から暮らしが続く港町・浜崎。伝統的建造物群保存地区に指定され、近年は古い町家をリノベーションしたカフェや宿、古着屋などが登場し、新旧が受け入れ合ってまちの歴史を紡ぐ。



散策は、萩市民の癒しスポット・菊ヶ浜からスタート。住吉神社、レトロな和菓子店、旧山村家などを巡り、船具店だったご実家を「むらやカフェ」としてオープンした宮本ご夫妻のコーヒーでほっと一息。萩でコトを起こす際に頼れる「はぎビズ」や、お試し暮らし住宅#梅ちゃんちの見学も予定。

夕食

萩のまちと人のつながりに魅力を感じて移住した夫妻の「yamamichi食堂」で交流会



福岡県出身の平山賢太さんと、萩市出身の奥様・美穂さんが移住し、2022年春、田町商店街がある御成道沿いにオープン。

料理は独学で学び、萩への移住をキッカケに**飲食店経営にチャレンジ**。食事提供だけでなく、活版印刷や蒲鉾店とのコラボなど、人々が交わるイベントを企画することも。通常営業は夕方までですが、今回のツアーでは特別に**夜の貸切で交流会**を開催！

宿

萩の日常と訪れる人が自在に繋がる場所として生まれた「萩ゲストハウス ruco」



「萩の風景を変えた」と言われる萩ゲストハウス ruco。『生活と旅のどちらにも寄り添い、街の循環をうむ場所』をコンセプトに、宿機能はもちろん、カフェや待ち合わせ場所、イベントスペースなど多様な場所として市内外に知られ、多くのつながりがここから誕生しています。

朝食は、近くにある人気パン屋「yuQuri」のパンや夏みかんジャムなどが楽しめる、カフェ風プレートを萩焼の器で提供。

集合場所

萩・明倫学舎本館

インフォメーションセンター

スーパーはぎ号などが停車するバス停そばの観光拠点で、カフェやショップ、トイレなどがありツーリストに便利。



交通手段

タクシーまたはバスを手配
(人数に応じて選択)

[利用予定会社]
新日本観光交通株式会社



体験

休校寸前から児童数15人の小学校に！佐々並の地域パワーが魅了



萩市中心部から国道262号を走って20分。山間の佐々並地区は萩往還の宿場町として古くから栄え、伝統的建造物群保存地区に指定されています。

小学校が休校危機になるなど過疎が進む中、近年は子育て世帯が続けて移住するなど革新的な取り組みで全国から注目され、2022年には移住定住促進に取り組む有志団体・**ささラブ応援隊**が国土交通省より「地域づくり表彰」を受賞。地域を動かすメンバーと交流しながら、交流促進施設・**みなくも**も見学します。

また、200年以上続く名物・**ささなみ豆腐**を、代々続いた豆腐屋さんと老舗旅館の女将さんを講師に迎え一緒に調理体験。試食を兼ねて「いただきます！」。

*大雪等で佐々並訪問が懸念される場合は、三見地区（古三堂、牧野窯、#さんちゃんち、道の駅萩・さんさん三見など）の訪問を予定。

体験

阿武町の魅力が集結！ABUキャンプフィールド見学&温泉入浴

道の駅発祥地として知られる**道の駅阿武町**に隣接して、2022年春、**ABUキャンプフィールド**がオープン。森里海の自然と、そこで営まれる暮らしの風景に包まれる「まちの縁側」拠点として、予約が集中する大人気フィールドです。

マネージャー・矢田さんのご案内で、キャンプフィールドを見学。ご自身も移住者である矢田さんから、阿武町暮らしの魅力もお話しいただきます。また、阿武町のお試し住宅やお試しサテライトオフィス、今回のツアーでは訪問できないけれど農産物豊かな福賀地域など阿武町をご紹介します。

2月の潮風で冷えた体は、同敷地の**温泉・鹿島の湯**に浸かってポカポカに（ご入浴が難しい方には、道の駅や夕日鑑賞などをご案内します）。



夕食

岡本シェフがもてなす、ツアー限定・萩阿武食材スペシャルディナー

夕食交流会は、この日限定のスペシャルディナーをお約束します。会場はABUキャンプフィールド内の**SUNbashi CAFÉ**。シェフは、海外の星付きレストランなどで腕を磨いた後に萩を活動拠点に選んだ、**リストランテ 彦六又十郎**（萩市明木）の岡本智之さん。

移住して地域と生きることを決めた岡本シェフの表現で、全国で阿武町にしかない無角和牛など萩と阿武の食材を輝かせるディナーを披露。召し上がった料理を通し、**2つのまちのポテンシャル**をぜひ感じ取ってください！



2ヵ所に分かれて阿武町で宿泊 [木与 & 惣郷地区の暮らしを体感]

宿

地域おこし協力隊OG
田口さん夫妻が今年オープン
「KiYO BEACH HOUSE」



鳴き砂の浜で知られる清ヶ浜に、今年9月オープンしたゲストハウス。阿武町地域おこし協力隊OGで漁師めし食堂を営む田口直子さんと、夫で一般社団法人「STAGE」代表の田口壽洋さんが、阿武町に宿泊できる施設を作ろうと築60年ほどの外国人風建物をセンス良くリノベーション。

宿

たくさんの移住者や関係人口も
受け入れてきた茂刈さん夫妻の
「漁家民宿 浜の小屋」



Uターン後に漁師として活躍し、集落の代表も務める茂刈さんご夫妻。趣味が高じてDIYで宿泊小屋やオーディオ部屋を作り、漁家民宿としてもゲストをお迎えしています。2/12の朝食は全員集合し、茂刈さんと一緒に地魚を使って公民館で料理体験。天気が良ければ水揚げの見学ができるかも。

2/12 mon. [阿武 & 萩の暮らしを体感]

体験

「暮らし」を考え、育て、伝える。中村夫妻の荒物屋と竹細工体験

阿武町地域おこし協力隊OBの中村龍太郎さんと奥様の千穂さんが営む・暮らしの荒物屋 めぐる を訪問。どうして「暮らし」を大切にしているのか、そして竹細工を始めお店を開いたのはどうしてか、阿武町に暮らしてみてもの感想などを、正直で柔らかな語りのお二人からお聞きます。

また、龍太郎さんが先生と呼んで親しむ地域のおかあさん・能野泰枝さんのご指導で、地元の竹から作ったひごで編む鍋敷き作りを体験。製作したものは旅のお土産にお持ち帰りいただけます。旅の後も、食卓に鍋料理が並ぶ時、鍋敷きを見てめぐりや阿武町を思い出してくださいね！



屋食

旅の最後の食事はホッと沁みる
ローカルうどん「どんどん」



ソウルフードとも呼ばれる、萩・阿武っ子が大好きな「どんどん」。寒い時期、並んでも食べたい郷土の味です。



「はぎポルト-暮らしの案内所-」
で旅の振り返り&アンケート



暮らしの情報がたくさん詰まった「はぎポルト」の説明やスタッフをご紹介します。旅の振り返りもここで。アンケートのご回答をお願いします。